

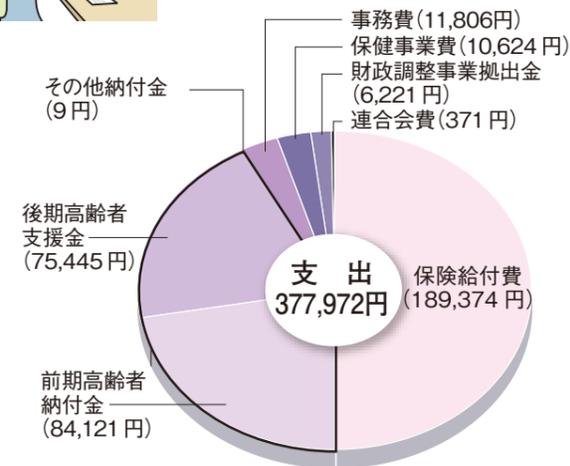
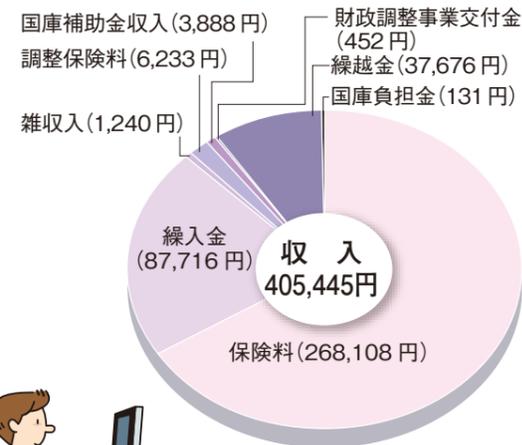
令和元年度 収入支出決算概要

収入 (千円)	
保険料	464,900
国庫負担金	227
調整保険料	10,808
繰越金	65,331
繰入金	152,099
国庫補助金収入	6,742
財政調整事業交付金	784
雑収入	2,151
合計	703,042
経常収入合計	468,352

支出 (千円)	
事務費	20,472
保険給付費	328,375
納付金	276,702
(前期高齢者納付金)	(145,865)
(後期高齢者支援金)	(130,822)
(その他)	(15)
保健事業費	18,422
財政調整事業拠出金	10,788
連合会費	644
合計	655,403
経常支出合計	644,615

決算残金	47,639千円
経常収支差引額	▲176,263千円

被保険者1人当たりで見ると



支出 (千円)	
介護納付金	40,181
合計	40,181
決算残金	618千円

健康保険分

介護保険分

収入 (千円)	
保険料	34,643
繰越金	696
繰入金	5,000
国庫補助金収入	460
合計	40,799

令和元年度決算のお知らせ

より効果的・効率的な保健事業を推進します

ジャヴァグループ健康保険組合の令和元年度決算が、去る7月21日の第56回組合会で承認されましたのでお知らせします。

収入
7億304万2千円

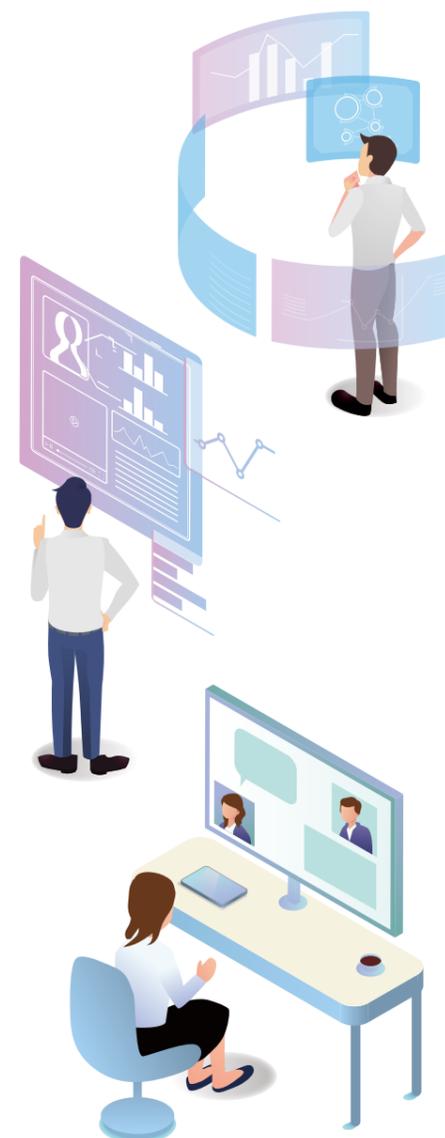
支出
6億5,540万3千円

収支差引額
4,763万9千円

当健保組合の令和元(2019)年度の決算は、収入七億三〇四万二千円に対し、支出六億五、五四〇万三千円、収入差引四、七六三万九千円の決算残金が生じましたが、経常収支で一億七、六二六万三千円の赤字決算となりました。赤字の主な要因は、保険給付費の増加と保険料収入の五九%に達し、大きな負担となっている高齢者医療への納付金です。

給付や賞与の増加による保険料収入増が期待されない中、後期高齢者が急増する「2022年危機」を目前に控え、さらに今年度は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる景気の減退と雇用情勢の悪化が、健保組合にどれほど悪影響を及ぼすか予想ができない状況となっています。とはいえ、一刻も早い感染流行の収束と経済の立て直しのためには、感染拡大および医療崩壊の防止が最優先であることは言うまでもありません。

厚生労働省は4月、新型コロナウイルス感染症の感染予防のための特別措置として、初診患者のオン



ライン診療を解禁し、医療機関では電話やビデオ通話を使った診療がスタートしました。世界に誇る日本の「国民皆保険」制度の仕組みが、ICT(情報通信技術)の進歩を背景に大きく変わりつつあります。健康保険におきましても、2021年3月をめぐりにオンラインによる資格確認の開始を予定しており、同様にICTの導入が進められています。当健保組合といたしましても、ICT等を活用して保険事務の効率化を進めながら、皆さまの健康増進を目的とした効果的・効率的な保健事業を実施していきます。皆さまにおかれましても、引き続き新型コロナウイルスへの感染防止に努めていただくとともに、規則正しい生活などにより、健康維持・増進を心掛けてくださいますようお願いいたします。

***オンライン診療(遠隔診療)**…情報通信機器(スマートフォンやパソコンなど)を通して、医師の診察を受け、薬の処方や診察料の支払いまでをインターネット上で完結させる仕組み。処方箋発行の手続き、服薬指導も認められています。

組合現況

2020年3月末現在



- 被保険者数 1,599人 (男性205人、女性1,394人)
- 平均年齢 33.88歳 (男性45.01歳、女性32.28歳)
- 平均標準報酬月額 282,762円 (男性431,132円、女性258,774円)
- 総標準賞与額(年間合計) 607,070千円
- 健康保険料率(調整保険料率含む) 8.20% (事業主4.10%、被保険者4.10%)
- 介護保険料率 1.6% (事業主0.8%、被保険者0.8%)